

新型コロナウイルス対応：富士スカウト章の考査に関する特別措置比較表（日本連盟）

進級科目	元々の富士章課題	2020年5月24日の特別措置	2021年6月29日の新たな特別措置	備考
申請期間の延長		現高校3年生に相当する年齢のスカウトに対しては、富士章の日本連盟への申請期限を6ヶ月延長する。	2021年度時点で高校3年生に相当する年齢のスカウトに対しては、富士章の日本連盟への申請期限を2022年3月31日から1年延長する。	6ヶ月→1年
2泊3日の単独キャンプ	自ら設定する課題により、2泊3日の単独キャンプ（固定または移動）を計画し、隊長の承認を得て実施後、評価を報告書にまとめ隊長へ提出する。	<p>ただし、外出や活動の制限、自粛等により野外活動の実施が不可な場合、後日必ず実施と報告書を提出することを約束し、実施までの間に、計画実行に向けて研鑽・努力する課題を設定し隊長に報告する</p> <p>※1. これまでの進級で積み重ねてきた成果を試すのに十分な課題設定を設け、また野営経験や活動で培ってきた知識・技能を活かし、安全（不測の事態への対処も含む）に単独行動して、課題を完遂できる内容の計画書であるかを考査の基準とする</p> <p>※2. 実施を前提する上で、ルートにおける訪問先については、出来る限り「三密」を避ける計画を立てる</p> <p>※3. 「計画実行に向けて研鑽・努力する設定」とは、課題に必要な知識の研鑽や移動野営に必要な技能・体力ためのトレーニングなど実行までに継続的な実践が可能なこと（過度な負担にならないよう、気持ちが継続するような目標になるよう指導</p>	<p>ただし、外出や宿泊等の活動に関する制限、自粛等により実施が不可能な場合、計画を立て、その計画の実行に向けて可能な研鑽・努力する課題に取り組み、結果を隊長に報告する。</p> <p>※1. これまでの進級で積み重ねてきた成果を試すのに十分な課題設定を設け、また野営警官や活動で培ってきた知識・技能を活かし、安全（不測の事態への対処も含む）に単独行動して、課題を完遂できる内容の計画書であるかを考査の基準とする</p> <p>※2. 実施を前提する上で、ルートにおける訪問先については、出来る限り「三密」を避ける計画を立てる</p> <p>※3. 「計画実行に向けて研鑽・努力する設定」とは、課題に必要な知識の研鑽や移動野営に必要な技能・体力ためのトレーニングなど実行までに継続的な実践が可能なこと（過度な負担にならないよう、気持ちが継続するような目標になるよう指導</p>	「実施と報告の約束」→「計画書と報告のみでも可」に変更

進級科目	元々の富士章課題	2020年5月24日の特別措置	2021年6月29日の新たな特別措置	備考
奉仕	地区、県連盟、日本連盟の行事等に奉仕し、その実績を報告する。	<p>ただし、当該行事の開催がない場合は、以下のうち一つを実行する。</p> <p>① 隊長、コミッショナーの協力を得て、地区や県連盟または複数団による「集合・対面にならない行事」を企画し、実行委員または運営委員として奉仕し、その実績を報告する。</p> <p>② 隊長、コミッショナーの協力を得て、地区や県連盟または複数団による「オンラインスカウトフォーラム」を企画し、実行委員または運営委員として奉仕し、その実績を報告する。</p>	<p>ただし、当該行事の開催がない場合は、以下のうち一つを実行する。</p> <p>① 隊長、コミッショナーの協力を得て、地区や県連盟または複数団による「集合・対面にならない行事」または「<u>小規模な行事</u>」を企画し、実行委員または運営委員として奉仕し、その実績を報告する</p> <p>② 隊長やコミッショナーの協力を得て、地区や県連盟または複数団による「オンラインスカウトフォーラム」を企画し、実行委員または運営委員として奉仕し、その実績を報告する</p> <p>③ <u>隊長やコミッショナーのアドバイスを</u>得て、<u>地域、他団体等の行事に奉仕し、その実績を報告する</u></p> <p>④ <u>隊長やコミッショナーのアドバイスを</u>得て、<u>その他、地域の課題について考え、課題解決に向けた社会貢献を企画し、実施する</u></p>	「地域、他団体の行事の奉仕」および「地域の課題解決への取り組み」を追加
		※1. 地区、県連盟の枠組み限らず、地域、友好団など複数の団をまたいだ行事でも構わない	※1. 地区、県連盟の枠組み限らず、地域、友好団など複数の団をまたいだ行事でも構わない	
		※2. 「集合・対面にならない行事」とは、家において参加できる行事や直接会わずに行う行事を意味し、スカウトに創意工夫で企画させる。必ずしも Web の活用は必要ない。(例：メンバー全員に手紙を送り、同時刻・同アクションをして何かの共有するイベント、Web を活用したオンラインイベントなど)	※2. 「集合・対面にならない行事」とは、家において参加できる行事や直接会わずに行う行事を意味し、スカウトに創意工夫で企画させる。必ずしも Web の活用は必要ない。(例：メンバー全員に手紙を送り、同時刻・同アクションをして何かの共有するイベント、Web を活用したオンラインイベントなど)	
		※3. 計画・実施に際しては、すべてを当該スカウトに任せるのではなく、主体的に関わりながら実施できるよう、役割と権限を明確にして協力・支援する。	※3. 計画・実施に際しては、すべてを当該スカウトに任せるのではなく、主体的に関わりながら実施できるよう、役割と権限を明確にして協力・支援する。	
		※4. Web の活用に際しては、スカウトの環境、保護者の理解、SNS 使用のマナー、セーフ・フロム・ハーム等に十分な配慮を。	※4. Web の活用に際しては、スカウトの環境、保護者の理解、SNS 使用のマナー、セーフ・フロム・ハーム等に十分な配慮を。	

進級科目	元々の富士章課題	2020年5月24日の特別措置	2021年6月29日の新たな特別措置	備考
信仰奨励	宗教章を取得するか、取得に対して努力したことを隊長に認めてもらう。	<p>ただし、宗派の開催する講習会の開催されない場合は、隊長の協力を得て、可能な限り教導職の方の指導・助言等を受け、宗教・宗派の教えに対する理解を深めるとともに、信仰心を高めるための行いを一定期 実践し、レポートにまとめ隊長に提出する。</p> <p>※1. レポートの内容は、各宗派宗教章の細目を参考にして、調べること（宗教・宗派の歴史や教え、礼式の作法など）、教えに基づいた実践の計画・実施・報告、信仰心に基づいた今後の生き方など、まとめる項目を指導してください。</p> <p>※2. 後日、宗派の開催する講習会の開催された際は、受講のうえ取得を目指すことを奨励する。</p>	<p>ただし、宗派の開催する講習会の開催されない場合は、隊長の協力を得て、可能な限り教導職の方の指導・助言等を受け、宗教・宗派の教えに対する理解を深めるとともに、信仰心を高めるための行いを一定期 実践し、レポートにまとめ隊長に提出する。</p> <p>※1. レポートの内容は、各宗派宗教章の細目を参考にして、調べること（宗教・宗派の歴史や教え、礼式の作法など）、教えに基づいた実践の計画・実施・報告、信仰心に基づいた今後の生き方など、まとめる項目を指導してください。</p> <p>※2. 後日、宗派の開催する講習会の開催された際は、受講のうえ取得を目指すことを奨励する。</p>	変更なし
成長と貢献	隼スカウトとして自己の成長と社会に役立つための課題を設定し、個人プロジェクト（研究、制作、実験など）を自ら企画して隊長の承認を得たうえで、少なくとも1か月以上にわたって実施、完結させ、隊長に企画書、計画書、および報告書を提出する。	<p>ただし、実施する内容が、野外での活動や複数人数が対面で実施しなければならないために実施が不可能なものは、後日必ず実施と報告書を提出することを約束し、実施までの間に、計画実行に向けて研鑽・努力する課題を設定し隊長に報告する。</p> <p>※1. 「実施する内容」について、スカウトの意志を尊重することを大前提として、可能な限り代替的な方法や課題へのアプローチの変更により、プロジェクトの目的・目標達成に向けて行動が起こせるよう、アドバイス や指導をする。</p>	<p>ただし、外出や宿泊等の活動に関する制限、自粛等により実施が不可能な場合、計画を立て、その計画の実行に向けて可能な研鑽・努力する課題に取り組み、結果を隊長に報告する。</p> <p>※1. 「実施する内容」について、スカウトの意志を尊重することを大前提として、可能な限り代替的な方法や課題へのアプローチの変更により、プロジェクトの目的・目標達成に向けて行動が起こせるよう、アドバイス や指導をする。</p>	「実施と報告の約束」→「計画書と報告のみでも可」に変更